

〔遺伝資源の収集・評価・保存〕

## 新規導入樹種の挿木繁殖性

渋谷圭助・田旗裕也・佐藤澄仁<sup>a</sup>(園芸部)<sup>a</sup> 現小笠原亜熱帯農業センター

【要 約】新規導入した緑化用樹木 36 科 65 属 150 種 (品種) について挿木繁殖の難易を明らかにし、一覧表にまとめた。結果を普及への材料として利用する。

## 【目 的】

近年、海外からの導入や民間育種家による育成品種の作出などにより、緑化用樹木のバリエーションは年々増加している。新しい緑化樹木については情報が極めて乏しく、既存の情報では繁殖、特性、管理などについて対応できないことが多い。また利用場面においても、これまでの画一的かつ量的な緑化からの脱却を図り、個性ある質的なみどりへの転換が図られつつある。こうした背景の下、本研究は、積極的に新しい緑化用樹木の導入を図り、東京の環境下における樹種特性の把握と増殖法の検討を行っている。今回は、近年の導入樹種における挿木繁殖について検討したので報告する。

## 【方 法】

2000 年から 2004 年度に導入した緑化用植物の内、36 科 65 属 150 種 (品種) を用いた。

挿木は 2002 年、2003 年、2004 年の 6 月から 7 月上旬にかけて行い、各年の 11 月に発根率調査を行った。挿し穂は 10cm 内外を原則とし、樹種特性に従って調整し、採取日もしくは翌日に挿木した。挿木本数は大きさ、枝振り等樹木の状態により 20~50 とし、複数年実施したものはその平均値を求めた。挿し床は芝目土とパーライトを 7:3 (容積比) で混和した物を用いた。挿木後はガラスハウス内において管理し、水管理はドライフォグ発生装置 (10/180sec) および適宜の灌水により行った。

## 【成績の概要】

- 1) 表 1 に挿木の難易を示した。表中の◎は発根率が 75%以上、○は 50~74%、△は 25~49%、×は 0~24%であったことを示している。アオキ属、ハイビスカス属などの樹種 (品種) は一様に高い発根率を示した。コナラ属、サイカチ属、ザイフリボク属、シウキウツギ属、ヒトツバダコ属、ブナ属、フラキシナス属、モクレン属、モチノキ属は全て低い発根率を示した。しかし、ガマズミ属、ミズキ属などは同属の中においても種レベル、品種レベルにおいて発根率のばらつきが見られ、◎から×まで表記が分かれた。この原因としては、種・品種が持つ特性によると考えられるが、気象条件などによる挿し穂の充実度、技術的な問題などの要因も考えられる。
- 2) 挿木繁殖は低コストで簡易な繁殖法であり、挿木繁殖が可能な樹木は一般的に挿木により増殖が図られている。このため、今回△や×表記になった樹種についても、次年度以降においても継続的な検討が必要と考えられる。
- 3) まとめ: 今回の調査により、新しい緑化樹木の挿木繁殖の可能性を示すことができた。今回挿木繁殖が困難であることが確認された樹木については、樹種特性の把握と平行して繁殖方法の検討を行う必要がある。

表1 挿木繁殖の難易

属名	種名・和名・一般名	品種名	難易 <sup>a)</sup>	属名	種名・和名・一般名	品種名	難易 <sup>a)</sup>
アオキ属	アオキ	スターダスト	◎	ダビディア属	ハンカチノキ		×
	〃	スルフレア	◎	ツゲ属	セイヨウツゲ	エレガンテシマ	○
	〃	ピクチュラータ	◎	ツバキ属	カンツバキ	セトジロ	×
アジサイ属	アメリカノキ	アナベル	○	トサミズキ属	ニオイトサミズキ	スプリングパープル	×
	〃	スノークイーン	◎	〃	〃	〃	◎
	〃	スノーフレーク	△	トチノキ属	アカバナアメリカトチノキ		×
	セイヨウアジサイ	シキザキセイ	◎	ナン属	ギンヨウナン	オオハラベニ	×
	ノリウツギ	ライムライト	◎	ニシキギ属	ツルマサキ	シルバーライン	○
アロニア属	ヤマアジサイ	ゴールドサンライト	◎	ニッサ属	ニッサ	シルバチカ	×
	アロニア	オータムマジック	○	ニレ属	ウルムス	ダンピエリオーレア	×
アロニア属	〃	ブリリアント	◎	ネムノキ属	ネムノキ	ロゼア	×
	〃		×	〃	バйкаウツギ	イノセンス	×
イイギリ属	イイギリ		×	バйкаウツギ属	〃	オウレウス	×
イボタノキ属	ネズミモチ	トリカチ	△	フィラデルフス	エンチャントメント		◎
	サラサウツギ	ピンクボンボン	△	ムクゲ	ウッドブリッジ		◎
ウツギ属	〃	ブレナ	◎	〃	〃	オイヤマウブレウ	◎
	〃	マジシャン	○	〃	〃	シロハナガサ	◎
	〃	マジシャン	○	ハイビスカス属	〃	ダイトクジシロ	◎
オガタマノキ属	ヒメウツギ	パリエガータ	◎	〃	〃	ダイトクジハナガサ	◎
	深山含笑花		×	〃	〃	トトリハナガサ	◎
カエデ属	サトウカエデ		×	ハコヤナギ属	ギンドロ	エレクタ	○
	トウカエデ	ハナチルサト	×	〃	ハシドイ		○
	ネグンドカエデ	パリエガータ	△	〃	ライラック	ジュームスマックファアレン	○
	〃	フラミンゴ	△	ハシドイ属	〃	スーパーバン	△
	ノルウェーカエデ	コルムナー	×	〃	〃	ミスキム	○
カエデ属	ペニカエデ	オクトーバーグローリー	×	〃	〃	ミニエット	△
	〃	スカンロン	×	〃	セイヨウハシノミ	ブルブレア	△
	〃	レッドサンセット	×	ハシノミ属	〃	コントータ	×
	ミツカエデ		×	〃	〃	〃	×
	メグスリノキ		×	ハマゴウ属	セイヨウニンジンボク		○
カエデ属	ヨーロッパカエデ	エメラルドクイーン	×	ハリエンジュ属	ニセアカシア	ヒレリー	×
	〃	クリムソクキング	×	ビスタシア属	カインキ		×
	〃	ファッセンズブラック	×	〃	アメリカヒツバタコ		×
	〃	サマースノーフレイク	◎	ヒツバタゴ属	ヒツバタコ		×
	〃	ピンクビューティー	◎	〃	ヒベリカム	サンバースト	×
ガマズミ属	ガマズミ	ダーン	△	フウ属	モミジバフウ	ガムボール	△
	〃	チャールズラモン	×	〃	ムラサキブナ		×
	〃	ティヌス	○	ブナ属	ヨーロッパブナ	ダーウィック	×
	〃	ティヌス	○	〃	〃	ダーウィックゴールド	×
ギョリュウ属	ギョリュウ	○	〃	ピロウドトネリコ	サミット	×	
クスノキ属	クスノキ	レッドモンロー	×	フラキシナス属	ホソハネネリコ	ゴールドデンデザート	×
	〃	レッドモンロー	×	〃	〃	レイウッド	×
クマシデ属	セイヨウシデ	フランツフォンテン	△	マルス属	マルス	ドメスチカ	×
	〃	ブルブレア	△	マンダリーティア属	マンダリーティア	インジグニニス	×
	〃	ペンデュラ	×	マンサク属	マンサク	アーノルドプロミス	×
グミ属	グミ	ギルドエッジ	△	〃	〃	パリダ	△
	〃	ライムライト	○	〃	シラダマミズキ	ウインタービューティー	△
クリ属	セイヨウクリ	オーレオマキュラータ	×	〃	〃	ゴウチャウルティ	○
クロバナロウバイ属	クロバナロウバイ	ブルブレア	×	〃	〃	シビリカパリエガタ	△
ゲッケイジュ属	ゲッケイジュ	パリエガータ	×	〃	セイヨウサンシュユ	エレガンテシマ	△
ケヤキ属	ケヤキ	パリエガータ	×	〃	ナガハクマミズキ		△
コテイヌス属	スモークツリー		×	〃	ヒマラヤヤマボウシ	マウンテンムーン	◎
コナラ属	オウゴンガシワ		×	〃	〃	〃	△
	ピンオーク		×	ミズキ属	ミズキ	パリエガータ	×
ヤナギバナラ	ヤナギバナラ		×	〃	ヤマボウシ	ウォルフアイズ	○
	アメリカヤナギ	サンバースト	×	〃	〃	ゴールドスター	△
サイカチ属	〃	ルビーレイズ	×	〃	〃	サトミ	×
	ザイフリボク	パレリーナ	×	〃	〃	スノーボーイ	×
ザイフリボク属	〃	ロビンセル	×	〃	〃	ノーマンヘイデン	△
	サクラ	オカメ	○	ミツマタ属	ベニバナミツマタ		△
サクラ属	セイヨウバクチ	マノ	◎	〃	メギ	アトブルブレア	×
	ブルススルシニカ		△	〃	〃	オーレア	×
サンザシ属	セイヨウサンザシ	ボールスカーレット	×	メギ属	〃	スペルバ	×
シキミ属	イリキウム		◎	〃	〃	ローズグロー	○
シナノキ属	フユボダイジュ	ファスティギータ	×	〃	〃	マクノリア	×
シモツケ属	シモツケ	アルバイン	◎	モクレン属	〃	ウオーターリリー	×
	〃	アンソニーウオーター	◎	〃	〃	キンジュ	×
	〃	クリスパ	○	〃	イレックス	ゴールドデンキング	×
	〃	ゴールドフレーム	△	モチノキ属	セイヨウヒイラギ	アルゲンティアマルギナータ	×
	〃	ネオンフラッグ	○	ヤマグルマ属	ヤマグルマ		◎
シモツケ属	〃	マクロフィラ	◎	ラブルヌム属	キングサリ	ホッシー	×
	ユキヤナギ	フジノピンク	◎	〃	アメリカリョウブ	ピンクスパイヤー	◎
ショウキウツギ属	ショウキウツギ	ピンククラウド	×	リョウブ属	〃	ロゼア	△
	〃		×	〃	〃	〃	△
シラキ属	ナンキンハゼ	外ロキヤンドル	△	レンギョウ属	レンギョウ	ゴールドデンタイム	◎
セルシス属	アメリカハナスオウ		×	〃	〃	リンウッド	◎
タニウツギ属	ベニウツギ	オーレオパリエガータ	◎				

a)◎は75%以上, ○は50~74%, △は25~49%, ×は0~25%の発根率であったことを示す。